

令和8年度 全国学力・学習状況調査
教科に関する調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立白河第三小学校長

令和8年4月23日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における児童への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は6年生で、国語、算数の2教科を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、児童の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教科	全国平均 正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語	60.9%					○
算数	56.4%			○		

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
言葉の特徴や使い方に関する事項	66.8%					○
情報の扱い方に関する事項	52.3%					○
話すこと・聞くこと	65.8%					○
書くこと	45.7%					○
読むこと	65.9%					○

【考 察】

- 全ての領域で正答率が全国平均を上回りました。特に「書くこと」の領域では、引用した部分と自分の考えとの関係を明確にして書く問題で全国平均を大きく上回っています。授業の中で、条件に合わせて書く活動や、物語文や説明文の学習において叙述を根拠に自らの考えを話し合う活動が成果として表れたと考えられます。
- 「読むこと」の領域では、目的に応じて、必要な情報を見つけることに課題があります。今後の授業では、資料を作成して友達に伝えるといった目的に応じて、必要な情報を文章の中から取捨選択したり、整理したりする活動を取り入れることで、課題の改善に取り組めます。

【算数：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と計算	61.1%	○				
図 形	55.3%			○		
測 定	78.1%	○				
変化と関係	41.1%				○	
データの活用	48.6%		○			

【考 察】

- 「数と計算」の領域では、正答率が全国平均を下回りました。特に基準量、比較量、割合の関係を捉える問題に課題が見られました。日頃の授業において、問題文を正確に読み取り、図や数直線を用いて、数量の関係を正しく捉えられるよう授業改善を図っていきます。
- 「測定」の領域では、示された情報を基に、条件に合う時間を求める問題に課題が見られました。問題を解決するための条件は何か、どこから条件が分かるのかについて、これからも授業の中に位置づけて学習を進めていきます。

令和8年度 全国学力・学習状況調査 質問紙調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立白河第三小学校長

「全国学力・学習状況調査」では、学習や生活の状況について質問紙による調査も実施しましたので、一部ですがその結果及び考察をお知らせいたします。

特に、児童の家庭学習の取組や授業の様子に関する調査結果を公表し、学校と家庭・地域の協力体制を強化していくことを目的としています。

この結果を、ぜひご家庭でも子どもさんと一緒に話し合っ、家庭生活の見直しに役立ててくださるようお願いします。

- 1 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。

		できている	どちらかといえば できている	どちらかといえば できていない	できていない
小	全 国	28.7	50.7	17.1	2.7
6	白三小	31.7	53.7	14.6	0.0

(単位 %)

【考 察】

- 自分で学び方を考え工夫できていると回答している児童が多いです。授業の中で、自分の考えを説明したり、友達の考えを聞いたりすることで、学びを深め、児童が主体的に学習に取り組めるようにしていきます。
- 学び方を考え工夫することに対して消極的な児童もいるため、まずは自分なりの考えをもつことができるよう、一人追究の時間に個別に支援し、意識改善に努めてまいります。

- 2 授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

		3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	全くしない
小	全 国	10.5	11.1	28.3	29.1	14.5	5.7
6	白三小	4.9	6.1	24.4	36.6	20.7	7.3

(単位 %)

【考 察】

- 学年の目標である「学年×10～15分」（6年生は60分～90分）の学習に取り組んでいる児童が35.4%にとどまりました。個別に課題を選択できるようにしたり、自主学習のよい取り組み例を紹介したりして、家庭学習のやり方を広く共有することで、児童が主体的に学習に取り組めるようにしていきます。
- 今後も、本校の「家庭学習の手引き」を基に、「目をかけて」「声をかけて」「心をかけて」を合い言葉に、保護者の皆様と共に児童を育てていきます。

3 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。

		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
小	全 国	3 1. 4	4 7. 0	1 7. 2	3. 4
6	白三小	3 9. 0	5 3. 7	6. 1	1. 2

(単位 %)

【考 察】

- 約90%の児童が、既習した学習を次の学習につなげることができていると感じています。今後も、学習意欲をさらに高められるように「何が分かって、何が分からないか」、「そのためにどうするか」について考えられるよう、振り返りの質を高める指導をしていきます。
- 日々の授業の中で、以前に学習した単元とのつながりを考えるよう指導しています。今後は、これまでの学習のつながりを教師が見つけさせるのではなく、児童が気づき、見つけられるような問いかけを工夫していきます。

4 学校に行くのは楽しいと思いますか。

		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
小	全 国	4 8. 0	3 7. 7	9. 6	4. 1
6	白三小	6 1. 0	2 9. 3	7. 3	2. 4

(単位 %)

【考 察】

- 本校では、「Q-Uテスト」を活用したよりよい学級づくりや、「ハッピータイム」での児童のよりよい人間関係づくりに取り組んでいます。また、互いの考えを聴き合うことを大切にした授業に取り組んでいます。このような活動を通して、児童は良好な人間関係を構築し、安心して学校生活を送ることができていると考えます。今後も児童同士がよさを認め合い、よりよい関係を築き、様々な学習活動への意欲につなげていきます。
- 「Q-Uテスト」「困り事アンケート」「教育相談」を計画的に位置づけ、児童一人一人の困り感に寄り添い、早期対応できるような体制を整えています。今後も学級の状況や子どもとの関わり方について研修を深めると共に、児童一人一人を大切にし、児童の考えを見取ったり、状況に応じて関わったりする教師の指導力向上に努めています。